

IXL を ガソリン・軽油 等 燃料への 使用例 ■ エンジンオイルへの添加と違い速攻で 実感できます ■

エンジンオイルが循環しない キャブレター、燃料噴射システム、燃料インジェクター、燃料ポンプへ IXL 効果を発揮します。エンジンオイルへの添加と違い 速攻でアクセルとのレスポンスが実感できます。またディーゼルエンジンのEGRシステムを潤滑にして燃費が向上し 黒煙が激減します。直接 給油口より 添加してください。

★ 市販の添加剤は メーカーの指定できません 個人の責任で添加して下さい ★

■ 添加率が かなり薄いので 入れ過ぎに注意！！ ■



燃料への添加率 1 対 2560 (一般車)

ガソリン

IXL 添加量

レース当日は添加不要 (燃料 100%が爆発力が大きいので)

32 リッター	13 c c
25 リッター	10 c c
20 リッター	8 c c
13 リッター	5 c c
10 リッター	4 c c
5 リッター	2 c c

添加の間隔は 継続的な使用が有効となります
が 一般の乗用車には適度な間隔 一 たとえ
ば 数回に1度 満タンにしたタイミングでも
効果は持続します レース仕様には毎回 給
油の度に添加がお勧めです
被膜が形成されているので レース当日は添加
不要！！ (燃料 100%が爆発力が大きいので)

2ST バイクの 2ST オイルは ガソリンと混合されて燃焼するので あらかじめ オイル缶へ添加しておくと 每回の添加
が省けて便利です 原付などの 2ST オイルへは 裏ページに理由を記載していますが 1%の添加率となり 例) 500cc
の 2ST オイル缶なら 5cc 程度をあらかじめ添加しておくと便利です (添加後 十分に攪拌して下さい)

★レース用混合式 2ST バイク・レーシングカート 2ST オイルへ 2~3%の添加率です

ガソリン (燃料) に対しての IXL の添加率は 倍の 1280 対 1 なので

■ 混合比が 25 対 1 の場合

ガソリン 1000 cc に 40 ccのオイルが混合されるので $1000 \div 1280$ で 0.78125 ccの IXL が 40 ccのオイルに含ま
れるには 1.953%の添加率となり 約 2% の添加で 2ST 500cc 缶には $500 \times 0.02 = 10$ ccの添加となります

■ 混合比が 30 対 1 なら

同じ方法で 2.604% で 約 3%の添加となり 2ST 500cc 缶には $500 \times 0.03 = 15$ ccとなります

レース当日は皮膜が出来上がっているので ガソリンへの添加は不要！！

すこしでもガソリンが多いほうが爆発力はあがります

★2022年まで「全日本カート選手権」KT100 デリバリーエンジンの組付け時にも使用されていました★

JAF・MFJ の燃料検査もパス レースの規則に合法的な整備です

★一般の原付・農耕器具の 2ST オイルへ 添加率は 約 1%で

500cc 缶へは $500 \times 0.01 = 5$ cc程度の添加で十分な IXL 効果を発揮します

ペアリング・チェインにも直接塗布できます

走行するほど 皮膜が出来上がり 金属摩擦が激減！！

(もちろん 0 リングチェーンにも使用できます)

またチェーンへの塗布は必ずチェーンオイルと併用してください (チェーンがサラサラになるのが実感できます)

IXL はオイルによって局圧点へ運ばれて皮膜を形成するからです

ブレーキ・クラッチフルードには添加できません

サスオイルや ペアリングへも



IXL 販売ホームページ →

(株)太田 090-3280-9800 安全なページです